

豊富学区市民ホーム移転業務〔予算額 39,272千円〕

市民生活部自治振興課
市民自治係(23-6047)

旧ぬかた会館施設保全業務〔予算額 57,260千円〕

財源内訳 公共施設保全整備基金繰入金 37,000千円、一般財源 59,532千円

支出内訳 豊富学区市民ホーム移転業務:2款2項8目 市民ホーム費/消耗品費 1,272千円、施設整備工事請負費 38,000千円
旧ぬかた会館施設保全業務:2款2項8目 市民ホーム費/施設保全工事請負費 57,260千円

【事業概要】

旧ぬかた会館の機能が額田センター（こもれびかん）へ移転することに伴い、豊富学区市民ホームの機能を旧ぬかた会館へ移転させることで施設の有効活用を図るため、旧ぬかた会館の内装、空調設備の改修及び、施設の長寿命化のための機械設備、外壁及び屋根等の保全工事を行います。

【事業スケジュール】

- 平成 29 年度 … 実施設計
- 平成 30 年度 … 改修工事
- 平成 31 年度 … 旧ぬかた会館を豊富学区市民ホームとして
利用開始（平成 31 年 4 月予定）



【旧ぬかた会館の概要】

鉄筋コンクリート造 2 階建
昭和 61 年竣工
延床面積 718.16 m²
(1 階 378.58 m²、2 階 339.58 m²)

女性活躍推進業務〔予算額 4,101千円〕		社会文化部男女共同参画課 女性活躍推進係(23-6222)
財源内訳	一般財源 4,101千円	
支出内訳	2款2項3目 男女共同参画費／講師等報償金 841千円、普通旅費 7千円、消耗品費 112千円、イベント開催委託料 2,199千円、ワーク・ライフ・バランス推進委託料 780千円、女性活躍推進研修負担金 162千円	

【事業概要】

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づき、女性が職業生活においてその能力を十分に発揮し、活躍できる環境づくりを推進します。また性別に問わず、職業生活と家庭生活の円滑かつ継続的な両立を可能とするため、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組みます。

新たな取組

（仮称）レディGO！プロジェクト

すべての女性が自信を持って地域活動や職業生活において一歩前に踏み出せるように、リカレント教育※1を推進します。

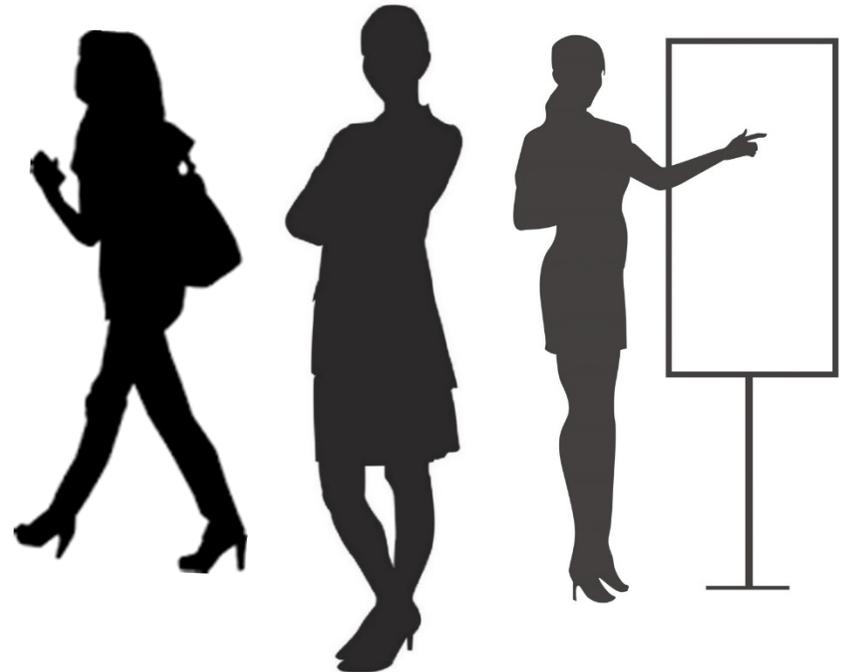
まずは子育てや家事をしながらでも、自宅等で好きな時間にスキルアップ（学習）できるよう、「地方創生カレッジ」※2と連携し、e-ラーニングを活用します。

- あらゆる分野での女性の活躍を後押し！
- 女性活躍支援をテーマとする地方創生カレッジとの連携は全国初！

※1 リカレント教育：社会人が、職業上の新たな知識・技術を習得するために、また日常生活において人間性を高めるために必要な高度で専門的な教育

出典：愛知県 特集「リカレント教育」

※2 地方創生カレッジ：内閣府主導により地方創生に必要な人材養成のためe-ラーニングを中心とした学習コンテンツを提供



姉妹友好都市交流業務〔予算額 13,486千円〕

社会文化部国際課
国際係(23-6656)

財源内訳 諸収入104千円、一般財源13,382千円

支出内訳 2款2項6目 都市交流諸費／都市交流事業委託料 13,486千円



ウツデバラ市提携50周年記念

ウツデバラ市使節団受入れ

- 概要：ウツデバラ市使節団・合唱団を受入れる。
- 日程：平成30年5月17日～21日（予定）
- 内容：市長表敬訪問、歓迎夕食会、合唱団コンサート等
- 訪問者 35名程度



公式使節団ウツデバラ市派遣

- 概要：岡崎市使節団がウツデバラ市を訪問する。
- 日程：平成30年10月24日～30日（予定）
- 内容：記念品贈呈式、表敬訪問、市内視察等
- 参加者：市長、議長はじめ9名程度



呼和浩特市の交流

呼和浩特市人民代表大会代表団受入れ

- 概要：呼和浩特市人民代表大会（市議会に相当）代表団を受入れる。
- 日程：平成30年4月5日～9日（予定）
- 内容：家康行列観覧、市長表敬訪問、歓迎夕食会等
- 訪問者 6名程度



岡崎市の姉妹友好都市

スウェーデン王国ウツデバラ市…昭和43年9月17日に姉妹都市提携。人口約5万人。充実した社会保障と高い文化水準を誇る都市。

アメリカ合衆国ニューポートビーチ市…昭和59年11月27日に姉妹都市提携。人口約9万人。美しく優雅な港町として知られている都市。

中華人民共和国呼和浩特(フフホト)市…昭和62年8月10日に友好都市提携。人口約300万人。内蒙古自治区の中心都市。

新規	自転車等駐車場整備方針策定業務 〔予算額 6,000千円〕	市民生活部安全安心課 交通安全係(23-6277)
財源内訳	一般財源 6,000千円	
支出内訳	8款2項2目 交通安全推進費／自転車等駐車場整備方針策定委託料 6,000千円	

●事業概要

【整備方針策定の背景】

- 地域共生型都市構造を目指すため、公共交通軸を中心に都市機能を集約した拠点を効率的に配置。(総合計画<都市構造の基本方向>)
- 健康志向や高齢者の自動車に代わる移動手段として自転車の利用増加が見込まれる。
- 今後の駅前開発に合わせ一体的かつ計画的な自転車等駐車場整備が必要。

- 駅前開発等を把握し整備時期、課題、必要な機能を整理
- 民設民営による整備方針の整理
- 受益者負担にふさわしい設備の基準の整理

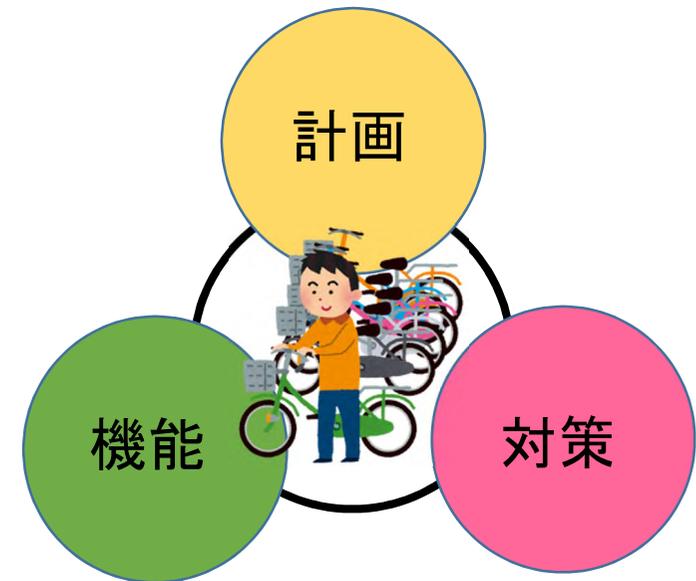
まちづくりと一体的かつ民間活力を活用した持続可能な自転車等駐車場の整備方針

- 自動二輪車、シニアカーの駐車区域の検討
- 利用形態に応じた適正な対策方針の整理

各駅の自転車等駐車場の利用状況に応じた機能性・安全性・防犯性を考慮した整備方針

- 放置禁止区域の設定基準の整理と撤去手数料導入の検討
- 適正な利用ができるような対策の整理
- 近距離でも自転車等駐車場を利用する人への対策整理

自転車等駐車場の快適利用に向けた施策の方針



まちづくりに沿って適正に整備された自転車等駐車場の実現

交通安全施設維持管理業務〔予算額 90,384千円〕		市民生活部安全安心課 施設係(23-6244)
財源内訳	国庫支出金 2,200千円、一般財源 88,184千円	
支出内訳	8款2項3目 緊急交通安全対策費／工作物修繕料 31,104千円、統合型GIS運用保守委託料 468千円、 道路反射鏡保守点検管理システム更新委託料 238千円、交通安全施設点検管理委託料 17,166千円、道路照明灯賃借料 1,278千円、 交通安全施設維持修繕材料費 200千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 39,930千円	

新規 道路照明灯具のLED化を10年のリース契約で行います。

- ・ 標準的な形状の道路照明灯約1,900灯を取替します。
- ・ 契約期間中の不点灯等の維持管理は、業者が対応を行います。
- ・ LED灯への取替を行うことにより電気料金や温室効果ガスの削減を図ります。



→
LED灯へ



賃貸借期間：平成31年度～平成40年度

年間電気代削減額：約20,000千円

10年間総額費用：153,321千円

新規	受援計画策定業務 〔予算額 3,239千円〕	市民生活部防災課 防災企画係(23-6711)
財源内訳	一般財源 3,239千円	
支出内訳	9款1項4目 災害対策費／受援計画策定支援委託料 3,239千円	

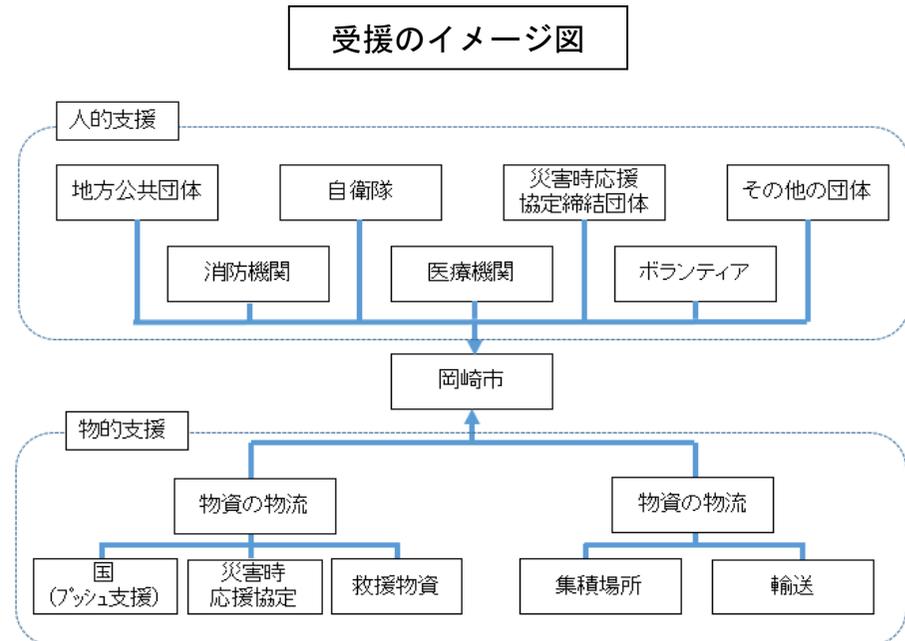
大規模災害の発生時、国、他自治体等からの応援の受入れを迅速かつ円滑に行うために、受援計画の策定を進めます。

東日本大震災や平成 28 年熊本地震では、被災地外の自治体や防災関係機関、ボランティア等により様々な種類の応援が行われ、被災地の災害対策を後押ししました。しかし、被災地である受援側に受け入れる体制が整っておらず、大量の支援が災害対策業務を滞らせる要因となった事例があったため、本年度は物資の集積所や物流などの整理を専門的な知識を有する事業者の支援を受けて行い、受援計画の策定を進めます。

整理する主な内容

- ◆ 想定される支援物資量の整理
- ◆ 物資拠点の整理
- ◆ 必要とする輸送機材の整理
- ◆ 必要とする人的リソースの整理
- ◆ 応援可能な企業等の候補抽出

受援のイメージ図



新規	防災指導員育成業務 〔予算額 9,349千円〕	市民生活部防災課 自主防災活動支援係(23-6896)
財源内訳	一般財源 9,349千円	
支出内訳	9款1項4目 災害対策費／指導員報酬 4,230千円、消耗品費 1,864千円、食糧費 11千円、印刷製本費 186千円、防災指導員育成研修委託料 3,058千円	

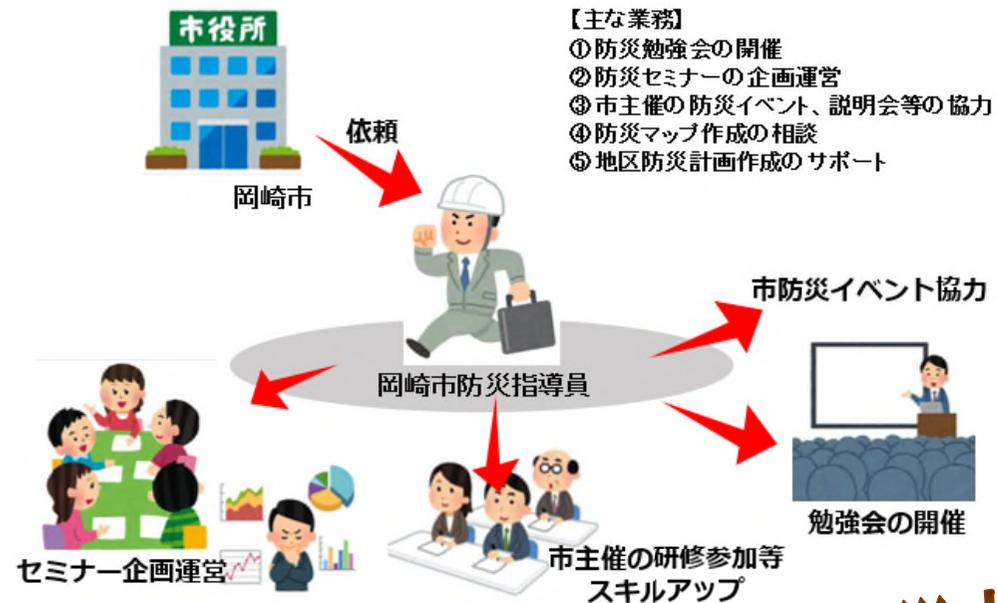
地域防災力の向上を図るため、平成30年度から岡崎市防災指導員制度を創設します。

阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震など昨今の大規模災害の経験から、自助・共助の重要性が重視されています。自主防災組織の強化と、地域住民を巻き込んだ自助・共助による減災活動の活性化を図るため、地域で防災を専門的に指導する人材が求められています。そのため、平成30年度から岡崎市防災指導員制度を創設し、防災指導及び防災啓発活動のできる防災専門知識を持った人材を育成します。

- 岡崎市防災指導員とは...
- ◆岡崎市民の防災意識の向上及び防災啓発のための活動を行う
 - ◆任期は3年（再任を妨げない）
 - ◆各学区の総代会長からの推薦等により選出
 - ◆指導員になるためには育成研修（4日間）の受講が必須

岡崎市防災指導員の活動イメージ

岡崎市防災指導員は防災啓発活動を中心に活動します。



地域防災力の向上

総合雨水対策施設整備業務〔予算額 25,434千円〕

土木建設部河川課
総合雨水対策係(23-6057)

財源内訳	一般財源 25,434千円
支出内訳	8款4項3目 河川新設改良費／消耗品費 4,698千円、浸水対策検討委託料 2,808千円、浸透施設検討委託料 2,592千円、浸水対策施設設計委託料 3,888千円、総合雨水対策施設工事請負費 11,448千円

○ 気候変動により増加する大雨に対し、市民・事業者・行政が一体となった効率的で効果的な浸水対策に取り組むための総合雨水対策事業を推進し、水害に対して安全安心なまちづくりの実現を目指します。

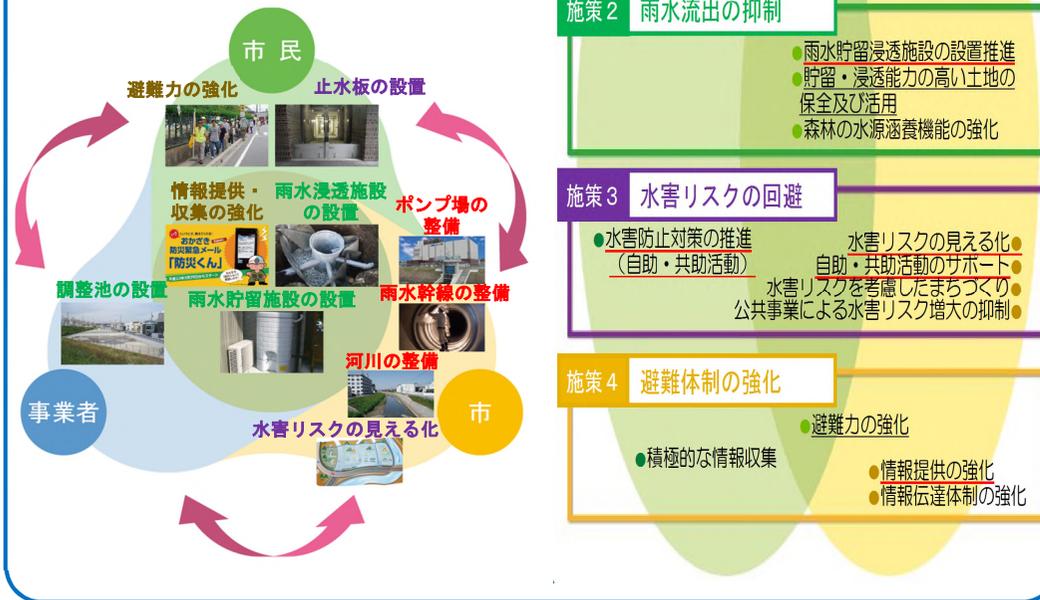
総合雨水対策計画（平成28年7月）

『大雨から“いのち”と“くらし”を守る』

～ みんなで力を合わせ、水害に負けないまちをつくる ～

30年確率降雨から“くらし”を守る

30年確率降雨(時間最大雨量70mm程度)に対して、**床上浸水被害解消**
「平成20年8月末豪雨」相当の降雨から“いのち”を守る
「平成20年8月末豪雨(時間最大雨量146.5mm)」相当の降雨に対して、**人的被害“ゼロ”**



平成30年度の主な取り組み

施策2 施策3

自助・共助活動をサポートするソフト対策として、雨水浸透ます支給、止水板設置補助の継続実施。

施策3

水害リスクが高い地区の公表と周知啓発による浸水被害軽減への取り組みを推進。

施策4

道路冠水による車両等の浸水被害を防止するための情報強化として、**浸水深表示施設**の設置推進。

浸水深表示施設（設置例）



河川・排水路改修事業〔予算額 760,336千円〕※上地新川改修業務 始め5業務合算

土木建設部河川課
北西部係(23-6614)・南東部係(23-6235)

〔平成29年度3月補正に前倒した予算額 826,400千円〕(合計予算額 1,586,736千円)

財源内訳	国庫支出金 28,000 千円、市債 384,000 千円、一般財源 348,336 千円
支出内訳	8款4項3目 河川新設改良費／河川改修工事請負費／排水路改修工事請負費 578,136千円、測量設計委託料 11,400千円、樋管改築工事負担金 151,000千円、電柱移設補償金 11,400千円、水道管移設補償金 8,400千円

○ 台風や集中豪雨による浸水被害を軽減し、地域の排水能力・生活環境の向上を図るため、河川及び排水路の整備を行うとともに、流域での浸透事業による雨水流出抑制を進めます。

【主な河川改修事業】

- ・ 準用河川 上地新川 (河道改修、橋梁改築1橋) 一部 H29 補正予算対応
- ・ 準用河川 六斗目川 (河道改修) 一部 H29 補正予算対応
- ・ 広田川関連排水対策 (普通河川吉野新川排水樋管整備)
- ・ 普通河川 渡下支川 (函渠整備)



【主な排水路改修事業】

- ・ 福岡西ノ切・井内上堤ほか
- ・ 浸透型排水路整備



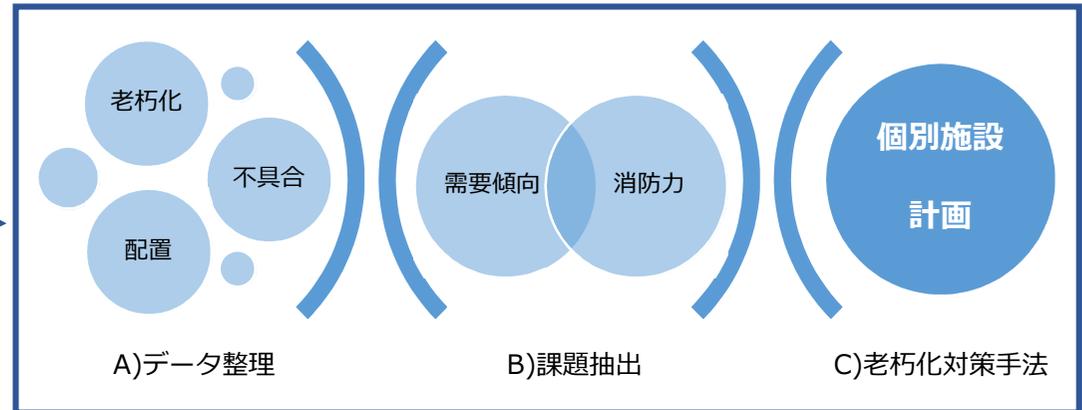
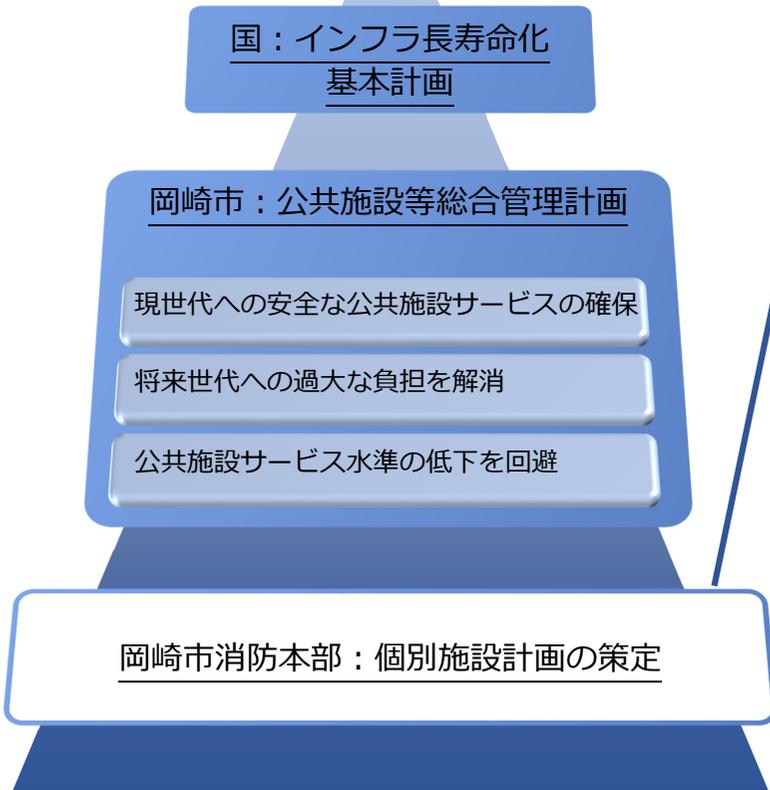
自然に配慮した川づくりに努めています。

新規	消防施設個別施設計画策定業務 〔予算額 3,871千円〕	消防本部総務課 総務係(21-9836)
財源内訳	一般財源 3,871千円	
支出内訳	9款1項1目 常備消防費／消防施設個別施設計画策定委託料 3,871千円	

国が示すインフラ長寿命化基本計画（H25.11）や、市が策定した公共施設等総合管理計画（H28.8）に基づき、消防施設個別施設計画を策定します。

※消防施設個別施設計画とは...

老朽化が進行する消防施設について、今後も効果的な消防活動が実施できるよう、老朽化対策を推進するための計画です。消防施設の特性を踏まえ、大規模改修・建替え・部分修繕など最適な老朽化対策手法を定めます。



個別施設計画では、

- A) 老朽化に起因する施設不具合や施設配置状況を踏まえ、
- B) 施設需要傾向（出勤状況）や消防力に関する課題を抽出し、
- C) 各施設の老朽化対策手法を定めていきます。

